

四十球目

これからのまちづくり
若い力、新たな流れに注目



細田 榊原純夫

令和元年10月1日、半田市は昭和12年の市制施行から82年目を迎えました。今日の半田市を築いてくださった先人たちに改めて敬意を表すとともに、これからの半田市を担う若者たちには大いに期待しています。

◆「継続は力なり」

(市税等収納向上対策)
税負担の公平性維持を目的に、平成20年4月から市税等収納向上対策本部を設置し、計画的に収納率の向上と累積滞納額の削減に取り組んでいます。平成30年度の現年度収納率実績値は、市税合計99.82%、国保合計98.12%で、ともに県下38市中1位となりました。これは、納税者の皆さまのご理解、ご協力と関係職員の日々の徴収業務における努力の賜物であり、深く感謝申し上げます。今後も、納税者の皆さまに、安心、納得の上、納税していただけるよう、収納向上対策に取り組んでまいります。

◆「新たな魅力で集客力アップ」

(AICHISKY EXPOとセン
トレア第2ターミナルビルが開業)
私は知多半島の観光振興を目的とした「知多半島観光圏協議会」の会長を務めさせていただいています。この組織は、知多半島5市5町の行政、観光協会、商工会議所等が連携し、それぞれの特徴を生かした魅力ある観光圏域を形成していくために平成21年3月に設立されました。地域の活性化には、知多半島への人の流れを増やすことが重要ですが、このたび、空港島内に、最新技術を採用入れた国内有数の大規模展示場、『AICHISKY EXPO』(愛知県国際展示場)が8月30日にオープンし、記念式典に出席しました。また、9月20日には同じくセントレアにLCC向け第2ターミナルビルが開業し、こちらも多くの方々の利用が期待されます。これまで多くの外国人観光客等がセントレアを利用してこの地域を訪れています。その数は今後ますます増加していく

ものと思われれます。この機会に改めて半田市の魅力を発信し、多くの方々に訪れていただき、本市経済の活性化につなげていきたいと考えています。

◆「これからのまちづくり若い力に期待」

(躍動する若い力)
先日、中学生、高校生の代表と交流する機会がございましたので、その時の様子を紹介いたします。
8月21日、令和3年度から始まる第7次総合計画に向けた、まちづくり市民会議、市内高校生ワークショップに参加しました。市内5校から集まった高校生15名が、3つのチームに分かれ、現在の半田の良さ、今後の課題について話し合ったのち、未来の半田市像「笑顔あふれるまち」、「バランスのとれたまち」、「今ある美しさがより発展したまち」を提案してくれました。高校生ならではの視点での提案内容もさることながら、堂々とプレゼンテーションする姿に接し、非常に頼も

しく思いました。
8月26日には、市内中学生の部活動の全国中学校体育大会・東海中学校総合体育大会での成果報告会に出席しました。これまでの厳しい練習の成果を存分に発揮し、青山中学校体操部は団体で全国優勝という素晴らしい成果を報告してくれました。また、他の学校、生徒さんもこれに負けない素晴らしい成績を収めました。

当日は、自己記録を更新した選手、力を十分に出し切れず悔しい思いをした選手等、熱く燃えた若者たちの生の声による報告を聞いて、たくさんの方のエネルギーをもらいました。
集まった中学生の皆さんは、この夏、それぞれの競技を通じて貴重な経験を積み、大きな成長を遂げられたと思います。この経験を糧に、これからもスポーツに、学業にますます精進し、将来の半田市を背負って立つ人物に成長してくれることを期待しています。

